

[掲載紙] 上毛新聞「点描ぐんま経済 日銀支店長 見聞録」

[掲載日] 2016年3月25日

[テーマ] 初めて迎える群馬の春—待ち遠しい満開の桜—

いよいよ年度末。この時季、仕事は忙しいが、私の頭の中はお花見のことでいっぱいとなる。当地で春を迎えるのは初めてということもあり、群馬県の観光・イベント情報紹介サイト「ググっとぐんま」で予習しながら、テレビの開花予想と近くの桜の木の状況を見比べて、お花見のベストタイミングを探っている。

かつての私はお花見と言えば宴会であった。友人たちと夜桜が楽しめる公園に出掛けて行って、レジャーシートの上で食べて飲んでしゃべって歌って、長く寒い冬が終わったことの喜びを味わった。そして、お酒を楽しむのに最高の場は、行き慣れた居酒屋でも、ちょっと気取ったバーでもなく、本当は屋外ではないかと言いつつ。職場から家に帰る時にもちょっと遠回りをして、缶ビールを片手に桜並木沿いの散歩を楽しむ。こうしたことまで含めると、周りの人間は圧倒的に「宴会派」が多かった。

最近ではピクニックでのお花見も楽しむようになった。その契機となったのは、ニューヨーク滞在である。米国では多くの都市が公共の場での飲酒を禁止しており、違反すれば罰金どころか即逮捕の可能性もある。封を切ったアルコールの入れ物を持っていることさえダメ。映画のように茶色の袋に隠し入れた瓶からウイスキーをぐびりと飲む度胸はないので、日中、周囲に倣って、桜の木が見える芝生の上で寝転がり、ソフトドリンクを片手にサンドイッチを頬張ってみる。すると、冬の間不足していた太陽の光を存分に浴びることができて、これもまた非常に気持ちが良い。

日本でも、お構いなく飲酒が許されるということではなくなっており、「ピクニック派」が優勢となってきているかもしれない。群馬は自動車社会だから、もともと「ピクニック派」が多いのだろうか。元「宴会派」としては、広瀬川沿いのカフェでグラスの白ワインを片手に桜並木を楽しむのも捨てがたい。前橋市の桜は開花したばかり。桜の花が一斉に咲きそろう瞬間が待ち遠しくてならない。

どんなお花見を楽しみたいですか？（複数回答可）

お弁当持参してピクニック気分で	61.0%
歩きながら桜を眺めたい	43.9%
桜が見える飲食店で優雅に楽しみたい	31.7%
ドライブでスポットを巡りたい	29.3%
昼間からお酒を飲みながらにぎやかに	29.3%
お酒を飲みながら夜桜を楽しむ	26.8%
屋台で買い食いを楽しみたい	19.5%

（出所）一般社団法人日本ホームパーティー協会「2016年お花見に関するアンケート調査」  
（2015年12月実施）

（ 日本銀行前橋支店長  
                                神山 一成 ）